



赤松杯

OP・ダート1600m M2
4月15日(火) 水沢競馬場
昨年の優勝馬・グランシヨー

胆江日日新聞杯 第50回 赤松杯 (M2)

水沢競馬場 4歳以上オープン・ダート1600m

4月15日(火) 18:10発走

2025年度シーズン、古馬による重賞戦線のスタートは恒例の赤松杯。1着馬から3着馬には5月18日、盛岡ダート1600mを舞台に行われる春のマイル王決定戦「第50回シアンモア記念」(M1)への優先出走権が与えられます。今回の赤松杯から昨年度の年度代表馬、4歳以上最優秀馬がそろって始動。さらに一昨年度の年度代表馬も名乗りを上げ、8頭立てながら非常に豪華な顔ぶれ。今季の重賞路線を占う意味でも重要な一戦となりました。

【注目馬情報】

★フジュージーン 牡4歳 瀬戸幸一きゅう舎・水沢

デビュー戦から圧倒的な強さを誇り、無敗8連勝で岩手クラシック・ダイヤモンドカップ、東北優駿の二冠を獲得。JpnIIへ昇格した不來方賞はJRA勢を相手に4着。初黒星を喫しましたが、続くJpnI・ジャパンダートクラシック(大井)10着から地方競馬全国交流・楠賞(園田)へ遠征。鮮やかなまくりを決めて全国に名をとどろかせ、満票で2024年度岩手競馬の年度代表馬および3歳最優秀馬に選出されました。当面の目標は春のマイル王決定戦・シアンモア記念。まずは赤松杯を制し、好発進を決めたいところでしょう。

★ヒロシクン セン6歳 佐藤雅彦きゅう舎・水沢

昨年5月、中央1勝クラスから転入後、B1級であっさり3連勝をマーク。続いて古馬伝統の一線記念みちのく大賞典へ果敢に挑戦し、鮮やかな逃げ切りを決めて快勝。重賞初挑戦でビッグタイトルを手に入れました。以降も青藍賞、トウケイニセイ記念と重賞3勝をマーク。桐花賞で4着に敗れるまで地元同士の戦いで敵なしを続け、4歳以上最優秀馬の栄誉を獲得しました。フジュージーンは強力ですが、先輩の貫禄を見せるか注目の一戦です。

★ノーブルサターン 牡11歳 板垣吉則きゅう舎・水沢

中央ダート4勝から南関東オープンを経て2022年12月に岩手入り。いきなりトウケイニセイ記念、桐花賞と重賞2連勝を飾ってシーズン終了。翌2023年は重賞4勝をマークし、年度代表馬に選ばれました。昨年は未勝利に終わりましたが、最終戦・桐花賞で0秒1差3着に惜敗。古豪健在を誇示しました。

★スズカゴウケツ 牡8歳 千葉幸喜きゅう舎・水沢

昨年は重賞・あすなろ賞を優勝。芝からダート変更した準重賞・かきつばた賞を完勝するなど充実した1年を送り、11月に南関東ヘトレード。5戦を消化して4度目の里帰り。盛岡5勝に対し、水沢は2着1回が最高。コース克服が課題ですが、3月のA2・B1戦（川崎1500m）を使われて態勢は整っています。

★フレイムウィングス セン8歳 酒井仁きゅう舎・水沢

中央ダート2勝、南関東1勝・B1級から一昨年に転入。岩手未勝利ですが、重賞を舞台に2着3回3着2回。相手なりに駆ける堅実さを身上とし、今季初戦も2着を確保。上々の滑り出しを切りました。

★ボウトロイ 牡7歳 菅原勲きゅう舎・水沢

コースを問わずマイル戦が最も得意とする距離。過去12勝2着6回3着8回と抜群の適性を誇っています。水沢1600mで行われたトウケイニセイ記念でヒロシクンにハナ差2着まで肉薄。距離延長は望むところです。

文 松尾 康司